



農ク・生徒会役員交代

12月4日（金）、農業クラブと生徒会の役員交代式が執り行われました。これまで1年間学校を引っ張ってきた、生徒会長 渡邊竜くんをはじめとする生徒会役員、及び農業クラブ会長 力久亞希斗さんをはじめとする農業クラブ役員が、新生徒会長 浦川小桜さんと新農業クラブ会長 中村将弥くん率いる新体制へと変わります。新生徒会、農業クラブの活動が、これからも佐賀農業高校をますます盛り上げてくれることを大いに期待しています。



旧生徒会長・農業科学科3年・渡邊竜くん（思斎中出身）

私が生徒会長の任期を終えて感じていることは、物事を達成することの難しさです。伝統ある佐農をより良くしていきたいという思いで活動してきましたが、今年はコロナウイルス感染症の影響も受け大変でした。そこで私が後輩たちに伝えたいのは、仲間と協力することの大切さです。例え一人の力が脆弱で不完全であろうとも、絆を深めた仲間と織りなす力は大きなものとなります。任期を全うし、とても貴重な経験ができたと感じています。

旧農業クラブ会長・環境工学科3年・力久亞希斗くん（白石中出身）

今年はコロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの学校行事がなくなってしまいました。全校生徒の皆さんも、楽しみにしていた行事があったのではないかでしょうか。私自身も、佐農祭が中止となり、とてもショックでした。コロナウイルスのように、予想外のことはこれからも起こると思いますが、やるべきことをきちんとやり、楽しむところで楽しみ、充実した学校生活を送ってください。来年こそ充実した学校行事がなされることを願っています。

・2学期クラスマッチ

12月9日（水）、2学期クラスマッチが開催されました。1学期のクラスマッチが悪天候により中止となってしまったため、今年度初めてのクラスマッチ、そして3年生にとっては最後のクラスマッチということになりました。当日は天候にも恵まれ、優勝目指して各チーム、寒さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。競技は、男子がグランドでサッカー、女子が体育館でバレーボールでした。男子は環境工学科3年の2チームが優勝、準優勝を獲得、女子の優勝は農業科学科2年、準優勝は食品科学科3年という結果になりました。



・佐賀さいこう！企画甲子園・本選

12月13日（日）、佐賀城本丸歴史館にて、「佐賀さいこう！企画甲子園」の本選が行われ、農業科学科2年の代表5名が優秀企画賞を受賞しました。

「佐賀さいこう！企画甲子園」は、高校生が佐賀を誇りに思い、さらに発展させていくためのアイデアを募ったイベントです。様々な分野から佐賀を盛り上げようとする企画がなされ、県内各地から全65チームが応募、一次、二次予選を勝ち抜いた上位8チームが、本選にて最終プレゼンテーションを行いました。審査員は、山口祥義知事をはじめ4名が名を連ねました。

本校からは、白石町の特産品である「白石たまねぎ」を用いた企画で本選出場を果たしました。生徒たちは学習や部活動などに追われながらも、多くの方に協力をいただきながら実験を行ったり、放課後遅くまで残ってプレゼンテーションを作成したりと、この日のために準備を重ねてきました。当日は非常に緊張した様子でしたが、審査員を目の前に堂々とした発表を行いました。審査員の方からもお褒めの言葉をいただき、これまでの努力が報われたことに非常に喜んでいました。優秀企画賞は副賞として、サガン鳥栖の選手のサイン入りユニフォームとグッズをいただきます。



企画内容

新型コロナウイルスの影響で学校給食の中止や外食産業の低迷などが続き、大量に廃棄されてしまった「白石たまねぎ」。着目したのは、近年手軽な商品への需要の高まりから普及が進む冷凍野菜。「白石たまねぎ」を冷凍すれば、農家にとつては規格外の玉ねぎの使用により、食品ロスの削減につながり、家庭では面倒な下処理や煮込む時間を短縮でき、利便性が得られると考える。



企画コンセプト

のぞみ らく

農家に”希”と家庭に”楽”を

令和3年1月の行事予定

- 8日（金）3学期始業式、基礎力診断テスト（1・2年）
- 12日（火）第3回評議員挨拶運動（～15日）
- 15日（金）防災講座、農業JA教育研究会
- 18日（月）特産物を使った料理教室（F3流通）
- 19日（火）2年修学旅行（～22日）
- 22日（金）計算力テスト（1・3年）
- 25日（月）国内フィールドワーク（2年SG）（～28日）
- 28日（木）3年学年末考査（～2/2）、第3回漢字検定
- 29日（金）計算力テスト（2年）
- 31日（日）3級造園技能士（学科）

